

6月の銅マーケットレポート及び7月の見通し(1)

橋本アルミ(株) 橋本健一郎



予想レンジ

LMEセツル	5500-6000ドル	● 強い
建値	650~700円	● 強い
為替	110~114円 (1か月間TTM)	● 円安

■概況

前半は、ロンドン中心部で3日、テロ事件発生、7人死亡、48人が負傷。6月のFOMCで政策金利を0.25%引き上げ年1.00~1.25%に決定、さらにFRBの保有資産を圧縮する具体策を約3年ぶりに改定、などのマイナス材料もあったが、フリーポート社が運営するインドネシアのグラスベルグ鉱山では長引くストの影響で採鉱、製錬量が減少していることを明らかにしたこと、また中国政府発表の5月の製造業PMIは前月比変わらずの51.2、予想は51.0、非製造業PMIは54.5に上昇したことなどに好感しUP。

6月15日時点で5684.5(セツル)と月初価格より69ドルUPの前半締めとなった

後半は、IMFは2017年の米経済成長率予測を2.1%と4月時点の2.3%から0.2ポイント下方修正、2018年の成長率予測は2.1%と前回の2.5%から0.4ポイント引き下げ、トランプ政権が掲げていた大型減税・インフラ支出拡大は困難とみてこの想定を予測から除外した。イングランド銀行のハルデン理事が今年下半期の利上げを支持する公算が大きいとの認識を示すなどのマイナス材料もあったが、中国国有の送電線大手、国家电网事業の入札が5月に増えたこと、銅の供給サイドでは鉱山スト、銅スクラップの輸入減(中国)により総体的に精錬銅供給は減るとの予測もあり、相場を下支え。ここにきてアルゴノートセキュリティーズ、ソシエテジェネラルなどアナリストは銅の見通しを明るく見るとの報道もあり、これらに好感しUP。

7月4日現在、後半スタート価格から221ドルUPの5894ドル。建値71万円のスタート。

■前月の経済指標

月間のドル/円レート(TTS)は111.73~113.10円。

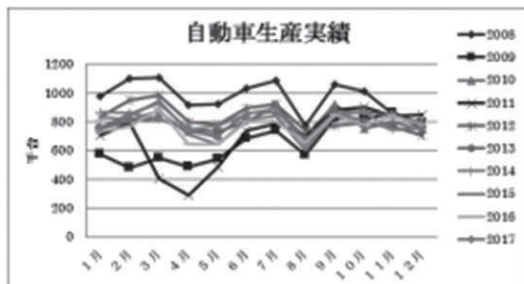


出展 MIRU

◆自動車生産台数

日本自動車工業会によると自動車生産台数は前年比+5.5%の69万3013台であった。

	2月	4月	5月
生産台数	85万2526台	74万9087台	69万3013台
前年比	+11.2%	+16.3%	+5.9%

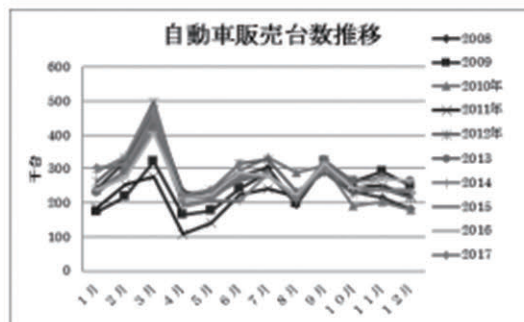


出典 日本自動車工業会

◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると自動車販売台数(軽除く)は前年比+9.7%の31万5744台であった。

	4月	5月	6月
販売台数	22万4220台	29万7512台	31万5744台
前年比	+5.4%	+0.1%	+9.7%

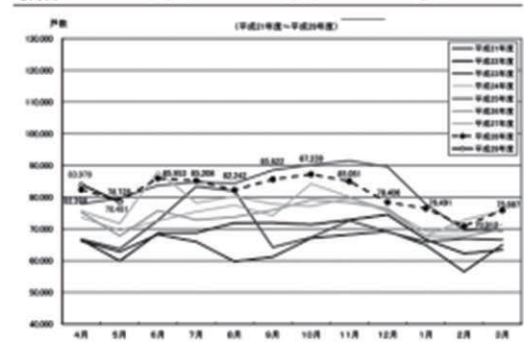


出典 日本自動車販売協会連合会

◆新設住宅着工戸数

国土交通省統計によると新設住宅着工戸数は前年比-0.3%の7万8481戸であった。

	3月	4月	5月
新設住宅着工	7万5487戸	8万3979戸	7万8481戸
前年比	+0.2%	+1.9%	-0.3%



出典 国土交通省統計